

# 關の西より（二）

楓 一一 子

私は「關の西より」として關西方面のいろいろの事を御報知せたいと思ひます。

然し保育界からは一步も柵外には出ぬ積りです。又之を讀んで下さつて何かのヒントでも得て下されば幸甚です。

○

難波といふ停車場から和歌山行の電車に乗ると四十分位して佐野といふ驛につきます。

此處には大阪府下で一才面白い變つた幼児が居る佐野幼稚園といふのがあります。

元來大阪の郡部には六つの公立幼稚園があります。其内で三つだけは此電車の沿線にありまして郡としては最も多くの幼稚園を有してゐる其郡の中の一つであります。

變つた幼児といふのは異常でもありません、天才的の幼児が居るのでありません。純漁師の子供達が立派な體格で而かも美しいつやのい、皮膚を有つてゐるのが澤山集つてゐる事であります。

私は名札を出して野村主席保母と始めて御顔を合はせました。

百名に足とぬ幼児を集めてゐられます。保母二人、保育室二つです。此處は維新の頃有名な食左太郎氏の舊邸です。諸國諸大名に送るべく小判の荷拵へをしたといふ玄關は今も黄金の音は聞えませぬが可愛い力ある幼児の歌聲がひびいてゐます。外遊の面白そうなのを暫く拜見しまして、二三の立派な體格の幼児を拜見しました。

田舎でも小都會でも常になり易い傾向は刺激が

ないから鳥なき里の蝙蝠になる事であります。

刺激のない中にぼんやり育つた力ない行動は實に退化の進路をとるものです、或人が云つた様に

Generation after generation

といふ事が教育の特性であるとするならば、此力ない行動は反つて幼児を害ふものだらうと思ひます。

幸にも此幼稚園の野村保母は熱心な研究家でありつゝ大阪の方へ出られては研究に研究をかさねられ新しき時代に遅れぬ様にしてゐられるそうであります。

保育室のテーブルの上に咲いてゐました白い薔薇からたゞよふ芳しい香の傍で四月施行の體格検査をせられてゐました。私は傍でみてゐました。

「皆さんは立派な身體か何うかみて上げませうね  
よい身體の人は兵隊になれますよ」

と保母が申されました。幼児はさもうれしそうに皆んな喜んで衣服をぬぎまして最後の體重計を降

りる時に

「先生、僕、兵隊になれるんか？」

と其の可愛い唇から洩れる言葉に對して一人一人鄭寧に

「なれますとも、なれますとも、よい身體です。

きつと兵隊になれますよ」

と野村保母が申される。其一人一人に對する言葉にいと満足そうに肩いからして歩んで行きました  
女の子も同様に

「私も兵隊になれるんか？」

「立派な御母さんになれますよ」

といふやさしい聲に前途を祝福されながら全部がすみしました。

情意生活、相互生活、注意の廣さの狭小な幼児ですから一人一人に満足があたへられる様な具體的な方法でなければ幼児の取扱は失敗でせう。

Must be brought face to face with facts

佐野幼稚園の保母の方々よ、大井川が出水して

諸大名が川止めを喰つた時に其路銀の用を今貴婦達が立つてゐるその食邸に乞ふた様に保育上に於てどうしても渡らねばならぬ川が來た時心理學と教育學の力だけでは駄目です。大名の威光でも渡れぬ川がありました。

教育學、心理學を經とした長い間の研究と、經驗を緯とした一案を川止を喰つた保母が貴婦達のもとに乞ふやうになるまで努力せん事を希望いたします。

○

花咲く西の國へ先頃出かけました。

私は筑紫の國へまで行くといふ積りで梅田から汽車に乗りました。岡山、廣島、熊本、下關、高松、福岡といふ大都市の幼稚園をみたいと思ひました。

以上の内で拜見した處と遂に時間の都合で中止した處もありました。其「筑紫行」の袋の口を開けまして、手にふれた土産物を少々御分けしま

せう。

私は保育法の實際よりも此度は保育材料と其保育成績品(但保育の僅一部分の手法)の觀察と兼ねて保育案や細目よりみたる保育者の保育觀を少しでも聞いてみたいと思つてゐたのです。

熊本市には山崎、吳服、頑臺、名取等の各幼稚園があります。私は午後の半日を此幼稚園參觀にあてましたのでほんの外観だけを覗いたといふ位でした。

土川先生の律動的遊戯は山崎幼稚園の上田保母のもとに於てのみ行はれてゐる様でした。他の園にては餘り實施をみない様でした。

モ女史の恩物も餘り觀迎されてゐる様でした。中に其變形の「コハゼかけ」又は「ひもむすび」等が行はれてゐる様でした。

名取幼稚園の星子保母の處では實に幼兒の描方が上手なのに感心しました。何か特種の方法でも御考案ですかと質問をしましたのに對して同保母

は入園當時は基本的の鉛筆練習を試みさせると言つて居られました。而して其遣り方は例へば直線の練習には雨だとか、横線は雨の水が横に川のように流れる處とか、そこへ風が斜に吹くとか云つて斜線を練習させ、興味多く行はれるといふことでした。さてその後になつて模範を示し又色を示し又自由にも描かせるやうになさるそうでした。頑臺幼稚園には外遊の運動具の中に小さい籠に綱をつけたものがありました。私はその使用法について尋ねました。その籠は中に球を入れてその球が落ちない様に皆が引張り乍ら馳つこをするのださうです。

山崎幼稚園の上田保姆以下皆御揃でスコップを以て園藝をしてゐられました。

自然を離れての教育は死であります。

私は其外細目及保育案等について質問し又形式をいたゞきました。

保育細目も死んだ細目にならないためにはどこ

までも主知主義に傾かない様の能力本位といふ様に情意陶冶に重きをおいた細目の活用を願はしく思ひ乍ら午後四時過の列車によりて廣島に向ひました。

廣島では第一に流川町の私立廣島女学校の幼稚園を是非拜見したいと思つて夜行で來ました。ねぼけ顔の而かも長途の旅でみすばらしい汚れた乞食の様な風姿の私が玄關を訪ねた時は丁度保育修了式の日で母姉達や幼児やさては若い先生達が立派な御つくりの日でした。

私が幼児——子供——といふ事を思ふ心は決して何人にも劣らぬ積りで居りますので汚れた風はまことに御見ぐるしくはあるだらうけれど私は何でも拜見したいといふ志を名札と共に通じました御混雜の際とみえましたから名札を出しました時に御都合を伺ひましたら少し御待ち下さいとの事でした。

半時程一人應接室でまつてゐましたが何とも仰

有つて下さいません。其内子供の修了式が初まりました。私は修了式の其まとひの末席にでも座らして戴き、罪の子ながら一片の黙禱もさゝげたい氣がしていら／＼立たり座つたりしてゐました。

私は豫定を變更する事が出来ませんので時間の都合があるので残念ながらそのまゝ失禮しますと若い主席保母の方に申しましたら然らばといつて別れをづげて門へまで出ました。

ふと私を呼んで下さる御方があるので私はふりなへると年の大分行かれた質素な御方でした。

「遠い處までいらしつて下さつたんですから私で御かまひなければ何處なと御眼にかけませう」と御許し下さる言葉に私は丁度イエスの屍を入れた墓の外で哭いてゐたマグダラのマリアに「婦よ何ぞ哭く」ときこえし天使の聲の様に私にはとび立つ思ひにうれしかつたのです。

「たい子供より學べ」といふ私の衷心が私をここまで送つて來たのに意味なく去らねばならぬ私の

衷心を非常に哀れに思つてゐましたから私は早速と恰も何か重病人の病室の外でも歩く様に硝子戸の外から保育室をみせていただきました。勿論保育修了式をみせていただけませんでした。

私が一種の壓感にうたれた心が二階に陳列されてある幼兒の製作品を拜見した時に直に一掃されました。

Dr. Dewey の本の一端を読んでも又 *The Kindergarten and first grade* を讀んでも *The kindergarten Primary magazine* を見てもいつでも私の心に一種の刺激を與へつゝあつた眞の錢價は高からねども其の材料より湧いてくる結果の到る行路の尊い思物を今眼の前につくられたのを見て：：實にうれしかつたのです。

私は此の質素な尊い保育者は此の旅人の心をなぐさめて下さつた：：年のたけた婦人に心からの御禮をのべて去つた。

雨はしよぼ／＼ふつて私の心に足を洗つて下さつたキリストの心や旅人を懇にせよと教はつた少

さい時の日曜學校時代の記憶がとめどもなく私の心に湧いて來ました。

細心の注意と各方面からの材料配當の具合や形式を集められ七年度より新しい形式の保育案によるべく準備であつた濟美幼稚園の遠山保母に御眼にかゝりました。

廣島に昔から行はれてゐる律動遊戲に土川氏のを加味して行つてゐなざる事や大阪江戸堀幼稚園の膳氏に學んだと申されて自然物利用のいろ／＼の製作品をみせていただきました。

廣島には此外に私立岸本保母の經營されてゐる廣島幼稚園と更に無得幼稚園といふ私立幼稚園との二つがある。無得幼稚園長の御話によると大に干渉主義を取つた年もありましたが今年は大に放任主義を取つてゐますといつて居られました。

True freedom is defined as "The opportunity for the fullest development of the total self."  
自由と干渉と放任と……私達はどれを撰べばよいでせうか。(終)

## 雨日物語

五月雨が細かく桐の葉上を撫で、庭一面がしつとりとなると一時に涼風が起つてまゐります年寄は耐らなくなつてお茶を立てる氣になります。子供は駆け出して石でも弄らうとするのが自然です『雨が降つてゐるから』と子供を制する親よりも『雨が降つてゐるのに』なせ出して呉れないと怨む子供の方がより以上自然ではあるまいか——お茶ノ水高師附屬幼稚園長倉橋文學士は語を續けて——雨を避ける親の心は宜しくないと思ひます何故雨を利用して子供を教育するやうに進まれないのでせうか平素は家事交際色々のことに子供を顧みる暇もない忙しい母親達に取つて洗濯も張物も出來ず又外出にも困難な雨の日は誠によい機會ではないか、それで今日は一日子供を相手に此間から焼て置かうと思つたかき餅を取出して澤山に焼いとかうと火を熾して網をかけます子供は母の膝近く寄つて餅の焼けるのを待ちませうむかしむかしと焼き乍ら好きな話をして聞かせます』